

## 地域情報

### イチゴの天敵を利用したハダニ防除技術普及へ向けた取組み

(一社) 熊本県野菜振興局会球磨支部

J Aくま苺部会では、14haで促成イチゴが栽培されており、冬春野菜の主力品目に位置付けられています。また、平成28年より本県育成品種「ゆうべに」が本格導入されてから平均収量は増加し、部会全体での機運が高まっています。

そのような中、球磨地域では難防除害虫であるハダニの被害が問題となっています。ハダニは主にイチゴの葉を吸汁し、草勢が低下する原因となります。対策として、薬剤散布による防除が行われていますが、抵抗性の発達により発生が抑制できない事例が増えています。

そこで、球磨支部では本ぽでの生物薬剤（天敵）導入によるハダニ防除体系を推進しています。さらに、昨年からの育苗期の天敵導入を検討したところハダニの密度は低下し、良好な結果が得られました。育苗期から本ぽに至るまで、一貫した天敵防除体系を確立し、管内に普及させたいと思います。

今後も環境に優しく、より安定した生産・出荷ができるよう支援していきます。



天敵放飼後の葉の様子



天敵放飼後の育苗床